

研修会報告

2つの研修会から学んだこと

「特別支援教育研修会」では、新潟大学教職大学院 長澤 正樹 教授より、児童生徒の多様な教育的ニーズに対応するための見方・考え方と特別支援教育の視点からの授業改善のあり方等についてご指導いただきました。

また、「いじめ・不登校未然防止置賜地区協議会①」では、山形県教育センター 堀米 和志 教育相談課長より、「いじめ未然防止のための自律的・自発的な学級づくりハンドブック」を基にした、いじめ未然防止の具体策についてご指導いただきました。

それぞれの研修会の様子、大切にしていきたいポイントについて紹介します。

「特別支援教育の視点からの授業改善—LD への理解を深める—」

6 / 1 3 特別支援教育研修会：川西町農村環境改善センター

今年度は、新潟大学教職大学院の長澤正樹教授をお招きし、発達障がいについて理解を深める研修会を行いました。児童生徒の多様な教育的ニーズに対応するためには、それぞれのニーズを学び方の特徴と捉え、その特徴に合わせて支援していくという、「障がい」という枠に限らない見方・考え方が大事であることを教えていただきました。



さらに、学習の困難さを克服していくためには、ユニバーサルデザインの視点など全員を対象とした支援をベースにしながら、必要に応じた少人数指導と、より個々のニーズに対応した個別指導が基本であることを教えていただきました。また、それらの指導や支援の結果を評価し、事実を保護者に伝えていくことで児童生徒の困り感を保護者と共有していくこと等、保護者との連携についてのお話も大変参考になるものでした。

明日の指導や支援につながるたくさんのヒントをいただいた研修会になりました。

～参加された先生方の声～

- ・障がいによって区別するのではなく、「結果」によって区別するという言葉が印象に残りました。実践例をそのまま取り入れるのではなく、目の前の児童の実態に応じて対応していくことが大事だと感じました。
- ・授業改善のみならず、生徒指導面でのお話もありがたかったです。幅広い見識・実践のある先生で、もっと学びたいと思いました。
- ・「困った子」は「困っている子」ととらえて、「Why？」から「How？」に変えて生徒に接していきたいと思いました。

「いじめ未然防止のための自律的・自発的な学級をつくる」

5 / 30 いじめ・不登校未然防止置賜地区協議会①：川西町農村環境改善センター

県教育センター堀米和志教育相談課長をお招きして、標記研修会を行いました。「いじめ未然防止のための自律的・自発的な学級づくりハンドブック」についての講義・演習をいただく中で、「**根本的ないじめ問題克服のためには、全ての児童生徒を対象としたいじめ未然防止の観点が重要**」であること。そして、具体的な方策として、「グループアプローチを3つの時期に計画的・系統的」に配置して実践していくことの大切さを教えていただきました。各学校における



「いじめを生まない、いじめを許さない学級づくり」のための実践的な取り組みとして、①「学級のリレーションづくり」、②「児童生徒の相互理解の促進」、③「児童生徒の自己肯定感の育成」のそれぞれについて、授業のモデルプランを紹介いただきました。協議会に参加された先生方も4人組のグループとなり、様々な活動を通して、「協働的対話的な集団活動を先生がファシリテートする」ということを、児童生徒の視点から体感いただきました。なお、モデルプランの展開例は、県教育センターのHPからダウンロード可能ですので、是非活用下さい。

また、講義・演習に先立ち、平成28年度いじめ問題対策推進事業における川西町の取り組みについて、川西町教育委員会梅津幸太指導主事から「児童生徒が主役となって進めるいじめ未然防止対策」として、映像を交えて実践発表いただきました。各校の取り組みをまとめた映像には、主体的に活動に取り組む児童生徒の様子が映し出され、大きな効果が期待されます。また、各校の取り組みを1枚のDVDにまとめ、共通実践として活用できるよう各校に配付するというアイデアも紹介いただきました。



10月の第2回においては、「いじめ・不登校の未然防止」について、より具体的な協議を行いたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

～参加された先生方の声～

- ・とにかくやってみること、生徒と楽しくやるのが大切だと思いました。
- ・集団作りがいじめ不登校の未然防止につながることを、改めて感じることができました。プログラムは初めてのものばかりでしたが、ぜひ実践しようと思います。ハンドブックを活用していきます。
- ・ハンドブックが3部作で構成されていたなど知らないことがあったので、校内でも伝えていきたいと思います。演習ではアイスブレイキングも含め、すぐに使えるものだったので学級づくりに役立てていきたいと思います。



学習指導研修会 参加をお待ちしています

今年度も『考える力』を育む教科指導改善研究会」による研究の提案の場として『**学習指導研修会**』を計画しております。**4教科（小学校社会・小学校算数・中学校国語・中学校数学）**において授業を公開する予定です。研修会当日は、大学教授等をアドバイザーにお迎えし、参加者の先生方と共に考える機会にして参りたいと考えています。（詳細につきましては、後日ご案内します。）

期 日	教 科	会 場 校	アドバイザー
10/16 (月)	小学校「社会」	米沢市立西部小学校	江間 史明 氏 (山形大学 教授)
10/27 (金)	中学校「国語」	高畠町立高畠中学校	菊地 とく 氏 (日本国語教育学会山形県支部会長)
11/14 (火)	小学校「算数」	白鷹町立蚕桑小学校	大澤 弘典 氏 (山形大学 教授)
11/21 (火)	中学校「数学」	長井市立長井北中学校	市川 啓 氏 (宮城教育大学 准教授)